

「平成22年度 市民による事業評価」及び関連事業の進捗状況

(平成24年度末現在)

平成24年度末現在の取組状況

	項目数	率
方針達成	6	50.0%
継続中	6	50.0%
合計	12	100.0%

1 市民生活・環境（事務事業数：3）

No.	進捗状況	事務事業名等	部局・課所名	評価年度	「市民による事業評価」評価結果	改革方針等	年度別進捗状況等 (方針達成による費用の状況等)					
1	継続	パースコントロール 補助金交付事業	市民生活部 生活環境課	22	【結果】 見直し ① 基本的には飼い主の責任だが、市の役割として、ペット管理の啓発活動の強化が必要である。	【方針】 見直し ① ペット管理の徹底と動物愛護の啓発活動を拡充する。 ◆H23年度：実施	【H23年度】 ・全自治会へペット管理と動物愛護に関する啓発用ビラを配布回覧 ・狂犬病予防注射に合わせ、啓発用ビラを配布 【H24年度】 ・全自治会へペット管理と動物愛護に関する啓発用ビラを配布回覧した。 ・狂犬病予防注射に合わせ、啓発用ビラを配布した。					
					② 野良犬は見かけなくなったことから、猫に特化した対策が効果的（犬に対してもしばらくは継続）である。	② 猫に特化した補助制度への移行を検討する。 ◆H23年度：協議 ◆H24年度：実施	【H23年度】 長野県動物愛護会上小支部が実施しているパースコントロールへの補助金は、猫に特化した補助制度へ見直すため、長野県動物愛護会上小支部及び関係団体と協議を実施した。 【H24年度】 ・長野県愛護会上小支部で実施しているパースコントロールの市からの補助金は、関係団体と協議した結果、平成24年度から猫に特化した補助制度に移行した。					
					③ 地域猫としての飼育等について、住民や飼い主の意識改革が必要である。	③ 自治会や県などの関係機関との協議を進め、地域猫活動の拡大に対する支援を行う。 ◆H23年度：研究 ◆H24年度：実施	【H23年度】 ・関係団体と地域猫活動の研究を実施。 ・H24年度も地域猫活動の推進のための意見交換会を継続開催する。 【H24年度】 ・野良猫等による生活環境被害や苦情対策としての地域猫活動の推進を図るため、県、市町村、地域猫ボランティア、動物愛護関係団体及び関係自治会による意見交換会を開催し、今後も関係団体が連携し意見交換を行いながら、地域への地域猫活動の説明や各種支援を行っていくこととした。					
		【事業概要】 ・犬、猫の避妊手術費を補助し、捨て犬、捨て猫の防止と愛護意識を図るもの。 ・長野県動物愛護会上小支部が実施主体であり、近隣市町村が補助金を交付している。 【H22予算額】 678千円				<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助金</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>554千円</td> <td>538千円</td> </tr> </tbody> </table>	補助金	H23年度	H24年度		554千円	538千円
補助金	H23年度	H24年度										
	554千円	538千円										

No.	進捗状況	事務事業名等	部局・課所名	評価年度	「市民による事業評価」評価結果	改革方針等	年度別進捗状況等 (方針達成による費用の状況等)											
2	継続	新エネルギー活用施設 設置費補助金交付事業	市民生活部 生活環境課	22	【結果】 見直し ① 期限や普及率等の目標値を設定する。	【方針】 見直し ① 補助制度における目標値を設定 ・H32年度までに太陽光発電による発電量を2万kwとする。 ◆H23年度：実施	【H23年度】 ・太陽光による発電量の目標値「H32年度までに2万kw」に対し、H23年度末では8,864kwとなり進捗率は44.3%となった。 【H24年度】 ・太陽光発電量の目標値に対し、H24年度末では12,703kwとなり、進捗率63.5%となった。											
					② 所得制限や指定業者制度の導入、事業所を巻き込んだ太陽光発電の先進地を目指すべき。	② 国の動向等に対応した制度の見直しの検討を随時行いながら、地域を挙げて取り組む方針についても研究する。 ◆H23年度：検討 ◆H24年度：検討実施 ◆H25年度：検討実施	【太陽光発電】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置件数</td> <td>2,125件</td> <td>2,960件</td> <td>5,085件</td> </tr> <tr> <td>補助件数</td> <td>648件</td> <td>835件</td> <td>1,483件</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>61,987千円</td> <td>95,961千円</td> <td>157,948千円</td> </tr> </tbody> </table> 【H23年度】 ・H23年3月の東日本大震災に起因する電力危機により、再生可能な自然エネルギーへの関心が高まったことから補助制度の見直しを行なった。 ・市民へ「家庭から始めるエネルギーの地産地消」、「自然エネルギーへの転換」をアピールするため、H24年度から補助上限額104,000円(4kw)を156,000円に上げる要綱改正をした。 【H24年度】 ・市民等による太陽光発電は急速に普及が拡大しており、震災に起因するエネルギー需給等、社会状況の変化に対応した目標値の再設定について、H25年度に「上田地域新エネルギービジョン中間見直し委員会」において検討する。 ・商工課により事業所対象の補助制度を創設したほか、H25年度の制度導入を目指し、公共施設等の有効活用(公共施設屋根等の貸付)を検討した。		H23年度	H24年度	合計	設置件数	2,125件	2,960件	5,085件	補助件数	648件	835件
	H23年度	H24年度	合計															
設置件数	2,125件	2,960件	5,085件															
補助件数	648件	835件	1,483件															
補助金交付額	61,987千円	95,961千円	157,948千円															
3	達成	市営住宅管理運営事業	市民生活部 住宅課	22	【方針】 民間に委託 ① 市民サービスの維持を担保した上で、民間活力(指定管理者制度等)を導入する。	【方針】 民間等への委託に係る費用対効果等の検証 ① すでに民間活力を導入している先進都市事例を検証し、上田市に導入できる手法を決定する。 ◆H23年度：実施	【H23年度】 ・民間活力を導入している、長野県(管理代行制度)、長野市及び松本市(指定管理者制度)、県住宅供給公社(管理代行者)や、他県における管理業務の内容、運営費用などの実績について研究・検証をし、管理代行制度または指定管理者制度の導入、直営での運営について、それぞれのメリット・デメリットの分析を行った。 ・今後、分析結果を踏まえ、上田市に適した管理運営方法を決定する。											
					② 諸課題に対する新しい管理手法の検討も必要である。	② 民間へ委託する場合、提案公募による民間への委託※を実施する。 (※業務に関する公募を行い、民間からの提案に基づき委託先を決定するもの) ◆H23：実施	【H24年度】 1 分析結果 (1)管理・運営経費について、外部委託と直営による経費を比較検討した結果、経費の削減に繋がらない結果となった。 (2)住宅困窮している市民や入居者の様々な要望・相談などに対し、現在提供している行政サービスの水準を維持することが難しい。 2 最終判断 管理・運営は、外部委託ではなく現状を維持することが最適と判断した。											
		【事業概要】 ・温室効果ガスの削減を目的として、一般家庭の太陽光発電システム設置費用の一部を補助するもの。 ・補助は、1kw当たり26,000円、上限4kw104,000円 【H22予算額】57,098千円																
		【事業概要】 ・低所得者に住宅を提供するもの。 ・42団地1,870戸、入居者3,561人、入居率88.5% ・H21年度使用料等の収入額251,318千円 【H22予算額】318,577千円																

2 産業経済・建設（事務事業数：3）

No.	進捗状況	事務事業名等	部局・課所名	評価年度	「市民による事業評価」評価結果	改革方針等	年度別進捗状況等 (方針達成による費用の状況等)								
4	達成	上田地域産業展 運営助成金交付事業	商工観光部 商工課	22	<p>【結果】 見直し</p> <p>① ビジスマッチング機能の強化、海外市場を視野に入れた展開をすべき。</p>	<p>【方針】 見直し</p> <p>① 来場者、企業への追跡調査を行い、海外市場の展開も視野に入れた開催手法の見直しを行う。 ◆H23年度：実施</p>	<p>【H23年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上田地域産業展の開催期間中(10/21～10/22)、開催手法の見直しの参考とするため、アンケート調査を実施し、来場者342人、出展者46企業・団体からそれぞれ回答をいただいた。 ジェトロ本部から講師を招き、海外展開セミナーを開催した。 								
					<p>② 子ども達の見学者も増やすべき。</p>	<p>② 小学生が参加しやすい、産業展の仕組みづくりを行う。 ◆H23年度：実施</p>	<p>【H24年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業の展示のみでなく、広く市民に企業の取り組みを知っていただくために、公募により企業プレゼンテーションタイムを設けた。(7社) 海外市場への展開を図るため、ジェトロ本部の講師によるセミナーと、海外進出している地域企業である日信工業(株)を講師として、海外進出の検討ポイントセミナーを開催した。 								
					<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ビジネスチャンスを創出する場の提供と、子ども達のものづくりへの関心を高めることを目的とする。 上田地域産業展運営委員会が主催。 出展企業約110、来場者約9,800人 上田市、東御市、坂城町、長和町、青木村が補助金を交付。 <p>【H22予算額】 3,922千円</p>	<p>【H23年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 同展において小学生を対象とする「ものづくり出前授業」を開催：10/22(土) (午前)「超小型ロケットを作ろう」：小学生の親子49人参加 (午後)「導通チェッカーをつくってみよう」：小学生46人参加 <p>【H24年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生が楽しみながら「ものづくり」への関心を高めることを目的として、「ロケット製作」「電子蛍を作ろう!」をテーマとする「ものづくり出前授業」を開催した。 小学生の参加者数：59人 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出展企業等</td> <td>109社</td> <td>101社</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>10,235人</td> <td>9,609人</td> </tr> </tbody> </table>		H23年度	H24年度	出展企業等	109社	101社	来場者数	10,235人	9,609人
	H23年度	H24年度													
出展企業等	109社	101社													
来場者数	10,235人	9,609人													

No.	進捗状況	事務事業名等	部局・課所名	評価年度	「市民による事業評価」評価結果	改革方針等	年度別進捗状況等 (方針達成による費用の状況等)
5	継続	別所温泉森林公園 管理運営事業	農林部 森林整備課	22	<p>【結果】 民間で実施</p> <p>① 事業収入が少なすぎる。</p> <p>② 民間が運営することで、利用者や収入の増が期待できる。</p>	<p>【方針】 民間等で実施</p> <p>① 利用者増に向けた対策を実施する。 (学校へのPR、観光関係者等との連携) ◆H23年度：実施</p> <p>② 施設ごとに今後の方向性や民営化を検討し、廃止や譲渡等を実施する。 ◆H23年度：検討 ◆H24年度：調整 ◆H25年度：実施</p>	<p>【H23年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> パンフレットを市内の小中学校・保育園など97箇所の教育機関へ送付、上田駅観光案内所・別所温泉旅館組合等へ設置、広報うえだでPRを実施した。 「森の学校」を開催（参加者）親子73人 利用者実績は、震災の影響を受けたと思われるが、H22年並の約1,000人の利用者であった。 <p>【H24年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> マツタケ料理や栗園の栗拾いをセットにした広告を旅行誌、地域新聞等に掲載。 チラシの配布、ラジオ宣伝の実施。 ホームページへ施設の最新情報の掲載を行った。 昨年に続き「森の学校」を開催（参加者77名） H24年度は利用実績は、栗園の入場者の増加により前年2割増の約1,200人の利用者があった。 <p>【H23年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の方向性や民営化に関する課題をし、引き続き関係機関と検討を進める。 <p>【H24年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林公園に混在する施設所有者で指定管理者でもある信州上小森林組合と経営状況や施設の維持管理について協議を行った。 引続き、今後の方向性や民営化に関する課題を整理し検討を進める。 施設の利用料収入での運営が困難である。 利用できる期間が、4月から11月末までと限られている。 市民が直接森林にふれあえる施設であることから、存続できる方法を検討する
		<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の癒し、自然保護の啓発、都市と農山村地域の交流、林業関係者の研修の場として公園内に宿泊施設、キャンプ場、テニスコート、栗園等を設置。 信州上小森林組合へ委託 利用者数約1,000人 <p>【H22予算額】 5,330千円</p>					
6	継続	上下水道使用料等徴収事業	上下水道局 サービス課	22	<p>【結果】 見直し</p> <p>① 包括的な業務委託を含めたコスト低減策を検討する必要がある。</p> <p>② 福祉分野の対応に配慮した上で、事務の効率化やコスト削減に向けて、民間委託の範囲を拡大すべき。</p>	<p>【方針】 見直し</p> <p>① 先進都市の状況を検証し、コスト分析を実施する。 ◆H23年度：実施</p> <p>② 窓口業務を含む組織体制の見直しと、賦課徴収業務の包括的な委託を実施する。 ◆H23年度：検討 ◆H24年度：調整 ◆H25年度：実施</p>	<p>【H23年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先進都市（長野市・松本市・東御市）を視察し業務内容の詳細を調査した。 <p>【H24年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 局全体の経営方針を踏まえた委託のあり方を考慮し、委託業務の内容、他市の状況についてさらに詳細な確認および検討をする上で、引き続き25年度の方針決定に向け取組を進める。 <p>【H23年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 賦課徴収業務の包括的な委託に向け、窓口業務を含む委託形態案を作成した。 <p>【H24年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 経費を含む委託業務の形態案を作成し、関係課で2回、局内で1回の検討を行った。
		<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上下水道の提供に必要な経費に充てるため使用料を徴収する。 <p>【H22予算額】 185,672千円</p>					

3 行財政・教育文化（事務事業数：3）

No.	進捗状況	事務事業名等	部局・課所名	評価年度	「市民による事業評価」評価結果	改革方針等	年度別進捗状況等 (方針達成による費用の状況等)
7	継続	広報事業 (広報うえだ・ホームページ・行政チャンネルなど)	総務部 広報情報課	22	【結果】 見直し	【方針】 見直し	<p>【H23年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民満足度調査の実施を検討したが、回収率等の課題があり実施を見送った。 H24年度は、市民からより多くの意見を把握できる手法を検討する。 <p>【H24年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 庁内に担当者による広報委員会を設置し広報事業の見直しを行ったが、市民アンケートの実施には至らなかった。 H25年度は、引き続き広報委員会(課長級)において、市民意見を把握できる手法を検討する。
					① 評価方法や市民からの反応等について明確にすること、システムの検討が必要また、市民に必要な情報を見極めた広報とすべき。	①-1 市民満足度調査にあわせて、広報に対する市民アンケート調査を実施する。 ◆H23年度：実施	<p>【H23年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報モニター制度の導入については、広報事業の現状と課題を踏まえ、H24年度設置の広報委員会の中で、制度の導入など市民参加の手法について検討する。 <p>【H24年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報委員会において見直しを行ったが、モニター制度の導入には至らなかった。 H25年度は、庁内における課長級による広報委員会において、制度の導入など市民参加の手法について検討する。
					② 情報プラザ構想に向けて、市民レポーターや学校番組づくり等を検討すべき。	②-2 市民の意見を反映した広報とするために、モニター制度を導入する。 ◆H23年度：導入	<p>【H23年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政チャンネルの番組の中で市民レポーターが登場し市政を分かりやすく紹介する番組や、市内の小中学校の取り組みを紹介する番組を制作した。 H24年度は、他の広報事業において市民参加の手法について検討する。 <p>【H24年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 庁内に広報委員会を設置し広報事業の見直しを行ったが、他の広報媒体における市民レポーターの導入には至っていない。 H25年度は、庁内の課長級で構成する広報委員会において、市民参加の手法について検討する。
					③ 広報は必要であるが、情報手段のあり方を検討すべき。	③ 統合可能な情報誌を広報うえだに統合する。 ◆H23年度：検討 ◆H24年度：実施	<p>【H23年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「上下水道局情報誌」は、従来の年4回発行を本年度から年2回発行に変更した。 H24年度は、広報うえだの発行回数を見直しと併せて統合を前提に検討する。 「地域自治センターだより」の今後のあり方については、広報委員会の中で検討する。 <p>【H24年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上下水道局広報紙は、H24年度から統合した。 その他全市対象の「全戸配布」、「回覧」のうち市で発行している文書は、引き続き統合に向け、H25年度に庁内の課長級の広報委員会において検討する。
		<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政情報と地域の情報を提供し、市の説明責任を果たすとともに市民と情報の共有化を図る。 広報うえだ、ホームページ、行政チャンネル、メール配信を手段として活用している。 <p>【H22予算額】 109,857千円</p>					

No.	進捗状況	事務事業名等	部局・課所名	評価年度	「市民による事業評価」評価結果	改革方針等	年度別進捗状況等 (方針達成による費用の状況等)												
8	達成	上田情報ライブラリー 管理運営事業	教育委員会 情報ライブラリー	22	<p>【結果】 見直し</p> <p>① 指定管理者制度はなじまないが、定型業務の委託を拡大すべき。</p>	<p>【方針】 見直し</p> <p>① 事業や講座などを検証し、事業主体のあり方や民間活力の導入を検討する。 ◆H23年度：検討 ◆H24年度：実施</p>	<p>【H23年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当館のコンセプトである「ビジネス支援事業」を推進するため、NPO法人への委託業務を図書の返却、配架、ブッカー掛けなどの単純業務からPC操作支援やデータベースの活用講座の開催等の専門的な業務への見直しを行い、H24年度委託金額は、H23年度と同額960千円で調整した。 H24年度の講座は、当館主催のほか、市民協働による実施を検討し共催によるNPO法人との講座、コンサートや大学等とのお話し会などの実施を予定している。 <p>【H24年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当館のコンセプトである「ビジネス支援事業」の利用拡大と充実を図るため、委託業務内容を見直し、図書修理などの単純業務を縮小し、PC操作支援やデータベースの活用講座、執筆編集講座の開催等の専門的な業務へ見直した。 NPO法人への委託料 H24年度決算額960千円 H25年度予算額960千円。 委託事業の範囲は、上記までの範囲が妥当と判断したが、市民協働によるソフト事業として「表現を楽しむ会による幼児向けおはなし会」「上田女子短期大学生による幼児向けおはなし会」「中小企業診断士による無料経営相談、省エネ相談」「信州大学繊維学部の学生による手作り絵本作作会」「NPO上田図書館倶楽部による各種講座、コンサート、朗読会、おはなし会」等を、H25年度も市民との協働により継続を予定している。さらに市民の参加と協働を進めるため、H25年度から新たにボランティアの協力による、配架・書架整理も開始される予定である。 												
		<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「暮らしとビジネスを支援する図書館」「千曲川地域文化の創造と発信をする図書館」「市民協働の図書館づくり」を基本としている。 H21年度貸出冊数108,518冊 <p>【H22予算額】 66,439千円</p>																	
9	継続	市民の森わしば山荘 管理運営事業	教育委員会 スポーツ推進課	22	<p>【結果】 民間に委託</p> <p>① 民間の経営ノウハウを活用した運営が必要である。</p> <p>② 学校教育やクラブ合宿での活用等、利用増に向けたPR強化が必要である。</p>	<p>【方針】 見直し</p> <p>① 施設のあり方を検討する。 ◆H23年度：検討 ◆H24年度：決定</p> <p>② 維持管理上の整備と利用者増に向けたPRを実施する。 ◆H23年度：実施</p>	<p>【H23年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の活用方法について、地元と検討会を6回実施した。 市民の森公園の核となる施設であることから、施設視察、現状の課題確認、利用者増への具体策等の検討のほか、施設の管理運営方法の検討を行った。 <p>【H24年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元との検討会を継続して7回開催した。 「市民の森・わしば山荘施設のあり方」について地元意見をまとめた。 <p>【H23年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校や団体に、利用に関するアンケート調査を実施した。 アンケート結果を地元との検討会で考察した。 小学校のスケート実習について、希望調査及び調整をした。 <p>【H24年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> シーズンオープン時にゴーカート、スケート場を、イベント開催時の馬術場まつり、乗馬教室を広報うえだとホームページでPRした。 地元との検討会の中で利用増に向けた協議を行った。 小学校のスケート実習について、希望調査及び調整を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>「市民の森」の状況</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>67,386人</td> <td>65,738人</td> <td>63,093人</td> </tr> <tr> <td>管理運営費</td> <td>33,618千円</td> <td>33,539千円</td> <td>34,946千円</td> </tr> </tbody> </table>	「市民の森」の状況	H22年度	H23年度	H24年度	利用者数	67,386人	65,738人	63,093人	管理運営費	33,618千円	33,539千円	34,946千円
「市民の森」の状況	H22年度	H23年度	H24年度																
利用者数	67,386人	65,738人	63,093人																
管理運営費	33,618千円	33,539千円	34,946千円																
		<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然を活かしたスポーツ、レクリエーション、憩いの場として設置 宿泊施設、キャンプ場、テニスコート、スケート場、体育館、馬術場等を設置 <p>【H22予算額】 5,406千円</p>																	

4 健康福祉（事務事業数：3）

No.	進捗状況	事務事業名等	部局・課所名	評価年度	「市民による事業評価」評価結果	改革方針等	年度別進捗状況等 (方針達成による費用の状況等)							
10	達成	父・母と子の集い事業	こども未来部 子育て・子育て支援課	22	【結果】 見直し	【方針】 見直し	<p>【H23年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H23年6月にアンケート調査を実施してニーズの把握を行ったが、日帰りツアーについては約7割が実施を希望するとともに、気軽に参加できる交流事業の要望も多かった。 <p>【H23年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査結果に基づき、日帰りツアーについては、募集人員を倍増して実施した。 (参加人数) H22年度 116人、H23年度 227人 ・近くで気軽に参加できる交流事業として、市の施設を利用した「親子クッキング教室」を2回実施した。 (参加人数) H23年度 25人 <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">事業費</td> <td>H22年度</td> <td>H23年度</td> <td>増額</td> </tr> <tr> <td>512千円</td> <td>1,105千円</td> <td>593千円</td> </tr> </table>	事業費	H22年度	H23年度	増額	512千円	1,105千円	593千円
					事業費	H22年度			H23年度	増額				
512千円	1,105千円	593千円												
		<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭を対象に、親子の交流とリフレッシュを目的とする事業 ・ディズニーランドの日帰りツアーを年1回実施 ・H21年度参加者は、抽選で120人程度 ・参加費として個人負担を有する。 <p>【H22予算額】 908千円</p>			<p>【結果】 見直し</p> <p>① 多くの希望者が参加でき、近隣で楽しめる手法を検討すべき。</p>	<p>①-1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象世帯のニーズを把握するため、アンケート調査を実施する。 ◆H23年度：実施 <p>①-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査の結果に基づき、事業の充実・拡大に向けて、あり方を見直す。 ◆H23年度：検討 ◆H24年度：実施 								
11	達成	子育てサポーター養成事業	こども未来部 子育て・子育て支援課	22	【結果】 拡大	【方針】 拡大	<p>【H23年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てサポーター養成講座の修了者に対しフォローアップ講座を実施した。(参加人数：H23年度 30人) <p>【H23年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーターへ「おたより」を1回送付した。 ・H24年度においても「おたより」を2回発行する予定。 <p>【H23年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報うえだの他、各ひろば利用の保護者への声掛け、民生児童委員会総会で募集チラシの配布、新聞に募集案内、有線放送を活用して募集を実施。 ・H23年度に作成した「上田市子育てサポーター」の刺しゅう入りエプロンを活用し、ひろばで着用することにより広く活動を周知し、受講者の更なる拡大に繋げることも実施した。 							
					<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭の支援のため「できる人ができる時にできる範囲」で携われるサポーターを要請するもの ・全5回の講座を開催 ・H21年度末累計終了者数138人 <p>【H22予算額】 657千円</p>			<p>② 活動できるサポーターを増やす努力が必要である。</p>	<p>②-1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「(仮称)子育てサポーターだより」の発行により未活動者への働きかけや活動の場の情報提供を実施する。 ◆H23年度：検討 ◆H24年度：実施 <p>②-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てサポーター養成講座の新規受講者を拡大する方策を検討する。 ◆H23年度：検討 ◆H24年度：実施 					

No.	進捗状況	事務事業名等	部局・課所名	評価年度	「市民による事業評価」評価結果	改革方針等	年度別進捗状況等 (方針達成による費用の状況等)								
12	達成	友愛訪問事業	健康福祉部 高齢者介護課	22	<p>【結果】 廃止</p> <p>① 連合会に不加入のクラブやクラブへの未加入者も多く、事業が限定的であり、老人クラブの育成が図れるものではない。</p> <p>② 高齢者が地域で孤立しないための支援は進めて欲しい。</p>	<p>【方針】 廃止</p> <p>① 老人クラブ自身の事業として継続できるよう協議し、委託としての事業を廃止する。 ◆H23年度：協議 ◆H24年度：廃止</p> <p>② 地域住民の支え合い活動は、本事業とは別に実施する。 ◆H23年度：他事業で実施</p>	<p>【H23年度】</p> <p>・老人クラブ自身の事業として継続することで協議が整い、H24年度から業務委託の廃止を決定。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委託料</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> <th>削減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1,061千円</td> <td>0千円</td> <td>△1,061千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>・H23年度は第5期上田市高齢者福祉総合計画の中に、「地域住民の支え合い活動」を位置付け取り組むこととした。H24年度に事業の具体的手法等を検討し、H25年度から事業を実施する予定。</p>	委託料	H23年度	H24年度	削減額		1,061千円	0千円	△1,061千円
委託料	H23年度	H24年度	削減額												
	1,061千円	0千円	△1,061千円												

(注1)「事業概要」は、平成22年度の評価時の内容です。

(注2)「H22年度予算額」は、事業実施のための直接的な経費のほか、事務等を行う市職員の人件費を含めています。